

みんなの 町議会

第 23 号

平成22年7月15日



神石高原町



油木高祭(テーマ絆)^{きずな}

- 小・中学校の耐震化予算を大拡充 (6月補正) …… 2
- 地域再生戦略会議(シンクタンク)を発足(予算審議) … 4
- 「CATV」自主放送特別委員会を設置(議員発議) …… 7
- ありゃあどうなった?(開院1年の町立病院) …… 8
- 井関総合開発の進捗状況は(一般質問) …… 10
- 農事組合法人「高原の里まき」(元気なグループ紹介) … 16

耐震関連予算を拡充

過疎対策事業債を充当



とまと お絵かき中（豊松小）

6月補正予算は主に、小・中学校校舎耐震調査・改修事業、統合小学校建設関連事業が計上された。

過疎地域自立促進特別措置法の延長に併せて、過疎対策事業債（総額の70%は町に交付される）の対象が拡充された。これにより、小学校校舎などの耐震改修に過疎対策事業債を充当。

統合三和小学校の建設事業において、当初予算で学校教育施設等整備事業債

太陽光発電補助を増額（20基分）

平成22年度第4回定例会は、6月15日から18日まで開かれました。

平成22年度各会計補正予算（6月補正）、神石高原町税等の滞納者に対する行政サービス等の制限措置に関する条例の制定など18議案、議会中継等自主制作番組放送推進特別委員会設置に関する決議など議

員発議6件を含む24案件をそれぞれ原案のとおり可決しました。また第3セクターの厳しい経営状況5件、明許繰越事業計算書2件の報告がありました。

一般質問では、12名の議員が当面する行政課題をたきました。

を充当していた部分を過疎対策事業債に組み替えた。

また、職員人件費について、退職に伴う減額補正（△6,634万円）及び人事異動に伴う組み替えが行われた。

夜間照明付テニスコートを新設

主なもの

○議会費	△125万円
○総務費	4,684万円
*宝くじ補助事業	340万円
*町再生戦略会議	140万円
○民生費	△5,479万円
○衛生費	△1,385万円
*太陽光発電補助	546万円
*クリーンセンター施設費	316万円
○農林水産業費	△2,097万円
*ひろしまの森	△1,801万円
*有害鳥獣（箱わな）	112万円
*ぶどう集荷施設	213万円
○商工費	△738万円

土木費

*単独町道整備

消防費

教育費

*小・中耐震調査

*小校舎耐震改修

*新小校舎グラウンド芝生化

*テニスコートほか

災害復旧費

*公債費（借金返済）

*長期債繰上返済

*諸支出金

*財政調整基金積立2億1,000万円

*人と自然輝く基金積立1,469万円

前年度繰越残高は6億655万円

平成21年度繰越残額は、一般会計で4億868万円、特別会計で1億9,788万円となった。

一般会計繰越額の約半額、2億1,000万円が財政調整基金に積立てられた。

平成22年度 6月補正予算 一般会計 4億2,583万円

小・中学校



七夕に願いをこめて ゆき保育所

平成22年6月 補正額

(1万円未満四捨五入)

会 計 名		予算額	6月補正額	補正後予算額
一 般 会 計		105億1,000万円	4億2,583万円	109億3,583万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	11億6,400万円	874万円	11億7,274万円
	後期高齢者医療	4億2,400万円	4,170万円	4億6,570万円
	老 人 保 健	700万円	345万円	1,045万円
	介 護 保 険	18億2,760万円	5,230万円	18億7,990万円
	簡 易 水 道 事 業	3億6,290万円	472万円	3億6,762万円
	飲料水供給施設事業	3,130万円	1,039万円	4,169万円
	農業集落排水事業	2億4,940万円	12万円	2億4,952万円
	分 収 育 林 事 業	10万円		10万円
	総 合 開 発 事 業	2,340万円		2,340万円
	特 別 会 計 計	40億8,970万円	1億2,142万円	42億1,112万円
病院事業会計		1億7,610万円		1億7,610万円
合 計		147億7,580万円	5億4,725万円	153億2,305万円

平成21年度 決算報告による第3セクター販売高

(1万円未満四捨五入)

会社名	売上	当期純損益	補助・委託
(株)神石高原農業公社	6,834万円	50万円	790万円
(株)帝釈峡スコラ	9,873万円	549万円	965万円
(有)直売公社 まるごと市場	2億5,386万円	△519万円	別枠600万円
(有)油木特産販売 百彩館	9,219万円	15万円	18万円
(有)さんわ182ステーション	3億1,789万円	80万円	209万円

まるごと市場

第3セクターに対する質疑

木野山議員 まるごと市場の売上が減少している。生産者への返品が増加傾向では。店舗外の売り上げ手数料は。また、情報発信の機能は持たせているのか。

農業公社

産業課長 現在の手数料は20%であり、PR不足である。現在まるごと市場のあり方などについて検討中だ。

木野山議員

農業公社の農作業以外の受託は利益が出るよう指導すべきだ。

産業課長 4半期に分けて補助金を出しているのです。その時点で検討を加える。

橋本議員

農業公社の本年度の具体的な事業はなにか。

産業課長 昨年度からの育苗ハウス施設を有効利用したトマト袋培地栽培を継続する。またトマト工房事業は、価格改定を行い、販路拡大に努め顧客管理の徹底に最善を注ぎたい。

橋本議員

平成22年度事業計画案は、充分検討したものなのか。

産業課長 平成21年度事業収支を精査し、計画したものだ。

補正予算に対する 少し細かな質問

総務課

新たに産業医を認定

松本議員 産業医の
具体的な活動は。

総務課長 月に1回労働安全衛生委員会に出席する。また、職員の健康診断をもとに、個々の指導やアドバイス、メンタルヘルスの相談、職場環境の診断などを行なう。

災害に備えテントを購入

橋本議員 緊急避難
テントの大きさと数量及び配備場所は。

総務課長 3m×5.5mの大きさを、3張購入し役場本庁に備える。

小林議員 統合小学

校グラウンドにも、芝生化
予算が計上されている。

灌水・刈り込み・除草
など各種の維持管理を要
するが、現状と今後は。

副町長 芝生化は進めて
いく方向である。スポー

財政課

寄定議員 学校耐震
化工事の財源を、過疎債
で計画しているが、国の
予備費の反映は。

財政課長 国の補助を3
分の2見込んでいる。過
疎自立支援法の改正で耐
震工事も過疎債の対象と
なった。予備費が交付金
へどのように反映してい
るのかは、町では分から
ない。

まちづくり推進課

地域再生戦略会議が発進 町の成長戦略を提言

寄定議員 地域再生
戦略会議の構成メンバー
とその役割は。事業仕分
けなどの実施は。

理事 構成メンバーは、
大西健丞（元内閣府 新
しい公共円卓会議委員）
加藤頼之（町アドバイ
ザー）伊勢村文英（広島
県有機農業研究会代表）
清水秀幸（IJU者（株）
アラウンド代表）水本
毅（CO2削減アドバイ
ザー）

町への成長戦略の提言、
町ビジョンの確認と再検
討、有効的戦術の構築・
実施支援、国・県・民間
企業・NPO等との連携
などを、調整する。また、
長期総合計画と主要事業
などの見直しもありうる。

木野山議員 地域戦
略会議の成果を期待する。
また、実行段階で町内の
団体も関与出来る様に事
業拡大を。

理事 神石高原町の総

力を挙げての事業となる。
各種団体の協力をお願い
したい。

小林議員 戦略会議

経費は政策的であり、当
初予算で計上すべきもの
である。」いつから稼働す
るのか。

理事 当初予算が当然だ
が、対象者との交渉が完
了せず、次年度までは待
てないので、あえてこの
時期に予算化した。

議決いただければ速や
かにスタートしたい。

橋本議員 神石高原

町地域再生戦略会議と夢
創造委員会との整合性は。

理事 夢創造委員会は、
公募による委員で（夢）の
提言を行い、戦略会議は、
町長が任命したもので、
具体的戦略戦術を提言す
るシンクタンクである。

**ふれあい基金残高を取崩し
豊松自治振興会**

村上議員 ふるさと
ふれあい事業の2,137万
円の内容は。

理事 豊松地区自治振興

産業課

会のふれあい基金繰越分
の補正で、太鼓修繕費な
どの増額分。

村上議員 ひろしま
の森づくり事業の減額内
容は。

産業課長 参加者の減少、
団体等補助金の1,622
万円が減額。

環境衛生課

橋本議員 飲料水施
設改修工事の場所と内容
は。

環境衛生課長 豊松地区
の下谷・米山施設で昨年
から濁度水が発生し配水
停止中であり早急の改修
が必要。

太陽光発電補助を増額

村上議員 エコタウ
ン等普及促進事業の54
6万円は。

環境衛生課長 太陽光発
電補助を当初10基分子算
化した、住民の希望が

多く、さらに20基分を追
加補正し、7月まで募集
を延長。

一般廃棄物収集処理に 316万円増額補正

村上議員 廃棄物収
集処理費の工事費、備品
購入は。

環境衛生課長 破碎機の
作業足場の工事、コンテ
ナ購入。

村上議員 当初予算
で組めなかったのか。

環境衛生課長 稼動後、
必要となった。

教育委員会

松本議員 中高一貫
校の取り組みは。

教育長 中学校、高校の
校長で研究会を設置し、
中高一貫校が可能かどう
か協議する。

松本議員 山・海・
島体験の具体的な方法は。

教育課長 県の補助事業
で、酪農体験、椎茸栽培、
こんにゃく造り、釣り、



5月1日「星の里いせき」オープンイベント（豊松太鼓）

カヌー体験など三次市作木町での3泊4日の合宿を通して体験学習する。

村上議員 過疎特別措置法の延長で耐震化に係る施設改修予算は次年度も計画できるのか。

教育課長 過疎債の対象が拡大され、2次・3次耐震建造物の調査結果により異なるが、協議し取り組む。

豊松小で耐震化工事

寄附議員 豊松小学校の耐震化工事費1億1,230万円を計上しているが、何故、6月補正なのか。夏休み中に工事完了出来るのか。

教育課長 3次耐震調査の結果により6月補正となった。校舎内部の工事から進め、夏休み中にできるだけ工事を進め、授業に支障を来さないよう児童への影響に配慮する。

条例制定・改正

こんなことが決まりました

条例制定

神石高原町退職手当審査会 設置条例 **全会一致**

○国家公務員退職手当法等の一部改正により、懲戒処分等を受けた際に退職手当の制限や返納等行うか否かを審査するため。

神石高原町町税等の滞納者に対する行政サービス等の制限措置条例 **賛成10反対3**

○町税等〔14項目の条例規定〕を滞納し、納税等について著しく誠実性を欠く滞納者に対し、行政サービスの一部〔19項目〕を制限することにより①納付に対する意識改革を促し②公平性を確保するとともに③併せて税等の滞納に対する町の姿勢を明確化するため。

条例一部改正

神石高原町防災行政用無線局条例等 **全会一致**

地籍調査の実施に伴い町有施設の一部地番が変更となった。

神石高原町職員の育児休業等 **全会一致**

○配偶者が育児休業をしている場合でも育児休業が取れることになった。

神石高原町職員の勤務時間、休暇等 **全会一致**

○育児する子どもが、3歳児未満の場合、残業をしなくてよいことになった。

神石高原町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償 **全会一致**

新しく設置された特別職の報酬を定める。
○退職手当審査会委員・・・日額 6,000円
○産業医……………月額50,000円

神石高原町立グランド設置及び管理 **全会一致**

東林館高等学校との土地貸借契約解消に伴い、名称を「来見グランド」に改める。

CATV議会中継は

より開かれた議会を目指して

— 議会運営委員会報告 —

調査研究目的

- ①議会の政策形成能力と行政のチェック機能を高めるため
- ②CATVを利用した議会中継をどうするか

調査研究日

2月3日(水)～4日(木)

調査研究場所

鳥取県西伯郡 南部町議会

鳥取県西伯郡 日吉津村議会

参加者

議運委員4名・正副議長
議会事務局長 計7名

調査研究結果

☆議会基本条例 南部町議会

平成18年3月
政治倫理条例調査特別委員会を設置
平成19年12月

南部町議会基本条例を全議員一致で可決制定

○議会の責務・政治倫理・議会の公開など

○議会と町長等との関係

★反問権を認める

☆CATV議会中継 南部町議会

○本会議 録画放送3回

○臨時会 録画放送2回

○放送主体

なんぶS

ANチャンネル

による

収録・編集

放送

会 日吉津村議会

○提案説明

明・一般質問

生放送・再放送を委託

再放送は3日間(午後7時から深夜3時まで)

○放送主体 柳中海テレビに委託

議会中継委託料80万円

○自主放送

＊担当者1名で、地域の行事・お知らせを撮影編集

集・中海TVへ届ける

放送委託料126万円

＊庁舎内にサテライトスタジオ2名

今後のあり方は

■議会基本条例に先がけて、CATV議会中継による議会公開のあり方を

探ることを提言。

自主防災組織の充実は 安心安全な地域を

— 総務文教常任委員会報告 —



調査研究中

調査研究目的

- ①自治振興会や自主防災組織などの活動を活発にして安心・安全な地域づくりを進めるため。
- ②今後増加する「源流の里」の維持・再生・解消の方策を探る。

調査研究日

2月22～23日(月・火)

調査研究場所

香川県さぬき市 徳島県美馬市

参加者

総務文教委員7名・議長
議会事務局長 計9名

調査研究結果

香川県さぬき市 〈自主防災組織〉

○組織の育成と体制充実を図るため、防災資機材購入に補助金を交付

＊80%補助上限5万(県と市で各々50%)

＊さぬき市単独事業(補助率を100%)に

○結果として、結成率が71・3%に

○さぬき市は平成14年4月1日5町が合併。分庁方式でサービスを提供。

財政基盤強化のため支所業務の見直しを行い支所

職員の減を実現。4年目で効果は1億665万円。

どないかせないかん

こやだいら地区の取組

徳島県美馬市

高齢化率52%限界集落30自治体の「こやだいら」地区の取組

○NPOこやだいら設立

＊過疎地有償運送(運賃130円/㎞)

○高齢者生活支援・清掃・農林業作業支援・防災など事業化

○NPOこやだいら・木屋平地域づくり実行委員会・行政の3者で平成20年度「木屋平水源の里協議会」を立上げ、環境実

態調査・観光資源調査・地域文化調査などの調査

事業を基に具体的な活動

実施詳細プログラムを作り

実行されている。

議

員

発

議



自主放送に関する

特別委員会を

設置しました

議会中継等自主制作番組放送推進特別委員会設置に関する決議

全会一致

提出者…藤田晃己
賛成者…村上克朗

議会中継をはじめ、地域に特化した「自主制作番組」を提供し、「町民のための町民によるCATVの効果的な利活用を推進」することを目的に設置する。

特別委員会・委員

委員長	小林 貢
副委員長	寄定 秀幸
委員	藤田 晃己
委員	村上 克朗
委員	木野山 孝志

国や県に

意見書を

提出しました

ヒロシマ・ナガサキ議定書のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書

提出者…松本彰夫
賛成者…寄定秀幸

全会一致

国会及び政府は2010年のNPT再検討会議において同議定書を議題として提案し採択に向け、核保有国を始めとする各国政府に働きかけることを強く要請する。

永住外国人への地方参権付与の法制化に反対する意見書

提出者…片山元八郎
賛成者…木野山孝志

賛成12 反対1

永住外国人に地方参政権を付与すればわが国の安全保障上極めて重大な脅威となり、取り返しの付かない深刻な結果を招来するのは必然であり、法律制定することのないよう強く要望する。

選択的夫婦別姓制度の導入に反対する意見書

提出者…木野山孝志
賛成者…片山元八郎

賛成11 反対2

別氏世代が数代続けば家系は確実に混乱し、大化の改新以来続いている日本の良き伝統である戸籍制度、家庭制度は崩壊し、祖先と家族・親と子を結ぶ連帯意識や地域の一体感、日本人の倫理道徳観にまで悪影響をおよぼす。「夫婦別姓制度」を導入しないことを強く要望する。

教育予算の拡充・義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書

提出者…松本彰夫
賛成者…小林 貢

全会一致

教育予算拡充に向け4点①少人数学級の推進②義務教育費国庫負担制度の堅持と国庫負担率を2分の1に還元③地方交付税の拡充④教職員給与の財源確保・充実に実行ある超過勤務の縮減対策を行うことを強く要望する。

米の個別所得補償対策等の見直しを求める意見書

提出者…寄定秀幸
賛成者…佐伯卓師

全会一致

来年度から本格実施に移行となるが、生産現場と地域ごとの事情に配慮し、稚拙な制度にならないこととし、今年度の制度のなかで3点①算定方式の見直し②地域の自主性を尊重③農山村基盤整備促進の改善を強く求める。

追跡

ありやあどうなった？

今はどうなっているか？追跡しました

神石高原町立病院 開院して1年経過

町立病院は平成21年4月1日、公設民営方式により県立神石三和病院を引き継ぐかたちで開院。病床利用率（入院）が増加

当初は入院・来患者とも県立病院の実績を下まわっていたが、病院スタッフの努力などにより3カ月が過ぎたところから持ち直した。入院については病床利用率が82%で対前年比115%、外来については1日平均120人で前年対比では97%の受診となった。
最新CTに更新

院内の改修工事では、ナースコールやトイレなどの設備を更新。12月にはCTを16列マルチスライスに更新し、患者の負担軽減と病気にに対する診断精度が上がった。

町立病院を守る会が発足

町民有志による病院を守る会が発足し、植え込みや花壇の手入れなどのボランティア活動を実施されている。

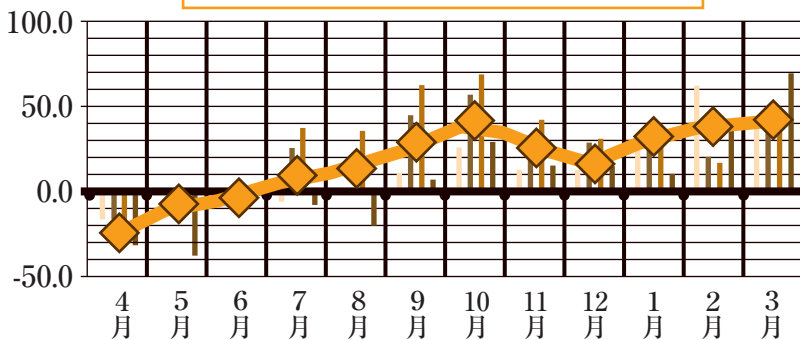
院内では季節に応じたイベントを開催し、患者や地域とのふれあいを深められている。

講演会などを通して医療現場の実態を伝え、理解を得て住民意識の向上に努められている。

医師確保が課題

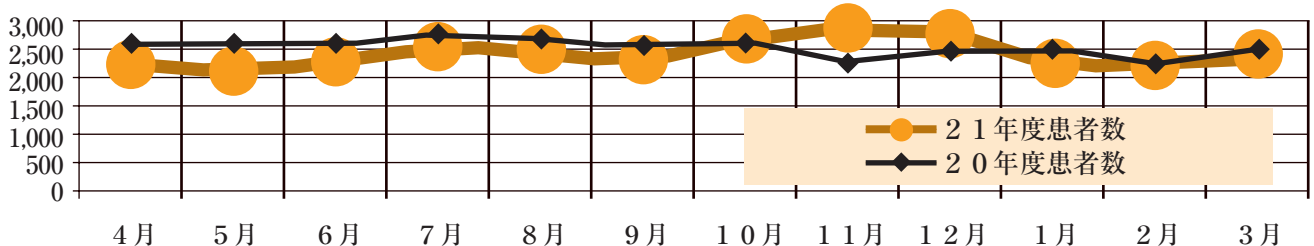
また、広大医学生の研究の場として提供し、将来の医師育成にも協力されている。課題としては、外科医や整形外科医が常勤していないこと。その結果として1次救急のサービスしか提供出来ないことである。

入院患者数月別前年比



16列マルチスライスCTスキャン

外来：月別患者数





元気いっぱい運動会（高蓋地区）

クイズの回答とともに寄せられた “まちの声”

○町民の声をしっかり議会にくみあげ、意味ある会議をお願いします。

（56歳・女性）

○学校や遊び場を、僕らの使いやすいようにしてください。

（7歳・小学校2年生）

○毎日のように通っている町道の上から松の木などが倒れ掛かりそうな所があります。

（74歳・女性）

○4月18日、本町内発生した強盗事件は、町民の大きなショックであり、より安全な住みやすい町づくり、防犯体制の充実が望まれます。

（80歳・男性）

○みんなの町議会を読んで見て、楽しみでうれしです。私はついぶん勉強になります。本当にありがたいです。年を取って、まだまだ勉強になりました。ありがとうございます。

（60歳・女性）

○議会広報コンクールで最優秀賞を受賞され、本当におめでとうございます。議会の事や町内の事がよく分かって。これからも楽しみに読ませていただきます。（70歳・女性）

○青色パトロールは、最近見えないようだけれど、動いているのでしょうか。組織はよくわからないけれど、自主的に動いておられるか、指令があつて動いているのか、最近安田で事件があつたばかりなので心配です。

（58歳・女性）

○今年度も女性会で議会の傍聴をさせていただき、老人ばかりの町になりそうです。どうか、若い人が住める町にしてほしいです。（66歳・女性）

○町立病院に外科ドクターが早急に必要と思う。内科ドクター5人もどうか？と思います。

（60歳・男性）

○毎日、野菜、果物色々と頑張っていますが、カ

ボチャ・ブドウなど、大きくなった所を「猿・猪」が出て荒らしてくれ、何とかならないでしょうか。（70歳・女性）

○道路を広くしてくださいとは言いません。山から落ちてきた土でせまい道がますますせまくなっています。夫婦で冬の間掃除していますが、限界があります。パトロールされていますが、何の為のパトロールでしょうか。一度、機械でとってもらえませんか。（県道）

（70歳・女性）

○定住促進事業がスタートした事は、嬉しい事だと思います。（69歳・女性）

○議員さんの色んな質疑により、今、町で、何が問題になっているか、勉強になります。

（70歳・男性）

○議員の方々には日々努力で、記章以上のものを身につけ、住民に尊敬される人であってほしいものです。（54歳・女性）

第5回 議会クイズ 解答

ご応募頂きありがとうございました。正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選され、1,000円分のやまなみ商品券をお贈りしました。

第5回クイズ当選者

神石地区	北 歩剛さん	神石地区	瀬尾カツコさん
神石地区	福万玉恵さん	神石地区	中山賀代さん
三和地区	瀬尾和子さん		（順不同）

- | | |
|---|-----|
| ① | 105 |
| ② | 記章 |
| ③ | モラル |
| ④ | 星 |
| ⑤ | こだま |

表彰

広島県
自治功労者表彰
広島県
町村議会議長会

岡崎 寛議長
議長歴5年以上
松本彰夫副議長
議員歴20年以上
佐伯卓師議員
議員歴14年以上
平井卓志事務局長
優良議会事務局



一般質問

あなたの声を町政に

一般質問は、一人30分
一問一答方式で行いました

井関総合開発と雇用対策は

村上克朗議員

答 雇用の創出への構想はある

Q 過疎化や少子高齢化の歯止め「星の里いせき」がオープンしたが、この事業は完成したのか。また、総事業費は。

A 町長 22年度、町道第2重松線改良・上下水道工事を10月15日までに完了させ、その後、道路舗装工事をすれば完了する。総事業費は22年度まで

に約6億4,000万円である。

Q 来見小学校を存続し、団地購入者に若者の特典を付けてあるが、雇用場所の確保が重要な雇用対策への取り組みは。

A 町長 福山市内への通勤可能な場所、ベトナムンとしての立地条件だ。造成工事は、臨時的に

地元企業の雇用が生まれ、今後、数年間は地元建築業者に雇用が生まれる。

Q 起業支援で農産物ブランド化を進め、働く場の創出を積極的に取り組むべきだ。町長が言われる「激流に逆らうぐらいの強い精神」で自立促進プランに取り組み停滞している町内に雇用の場を創造すべきでは。

A 町長 今は造成が一番であるが、雇用創出への構想はもっている。

Q 本町の家畜経営状況と口蹄疫対策は。

A 町長 三次市場での5月の価格は昨年より約6%低く厳しい状況だ。本町にはウイルス対策マニュアルがあり宮崎県での参考

事例を検証しながら、間違いない対応をして行きたい。

Q 「和牛の里」が設立して一年過ぎたが経営状況と、町の推進する「黒」の生産対策は。

A 町長 60頭牛舎の整備が完成したが、現在は7割の頭数である。120万4,000円の利益がでている。

学校跡地の有効利用は

藤田晃己議員

答 地元の意見を尊重し検討

Q 東林館高校跡地の有効利用は。

A 町長 地元の承諾もいただきながら雇用の場に繋がる企業に優先的に利用していただきたい。

Q 三和小・高蓋小・二幸小学校の跡地利用は。

A 町長 今の段階では教育財産だと認識しているが、

普通財産に戻ると町長部局の管理となるので出来るだけ地元の意見を尊重しながら、社会教育施設などに利用するか、企業に貸しても良い。

Q ゆとり教育見直しによる効果・影響は。

A 教育長 新しい学習指導要領の完全実施は小学校は平成23年、中学校は平成24年度である。今の段階で

考えられる効果は、しっかり教える事の重視による基礎・基本の定着、習得した知識・技能を活用させる指導の充実、言語活動の充実などが期待できる。

授業時間数の増加に伴い、学校裁量による授業が取りにくいので綿密な指導計画と改善が必要となる。

Q 来見小学校の複式教育導入の状況は。

A 教育長 複式教育経験者で教務主任経験者などを配置し対応している。

自分たちで学習を進め、時間の使い方に馴れ、自主的に学習する態度が育ち、軌道に乗っていると把握している。



大きな声で（豊松小学校）

問 ケーブルテレビの 加入率アップは

小林 貢議員



答 加入率目標は100%

A 町長 告知放送の一本化が大きなメリットでもあり、加入推進する。理事を筆頭に担当者が各班に向いて鋭意説明をしており、評価してやってほしいし、私も評価している。その結果はおのずと

Q スタンダードプランへの現在加入率は、63・4%であるが、告知放送は全戸加入されないと、現在の町内放送を終了できないのでは。

A 町長 これは駄目ならあれをとは考えていない。

Q 公共告知放送の加入率100%に向けては、無料化の方法もあるが。

A 町長 現在テレビ共聴組合に対し加入推進及び適切な対応策も含め説明を行っており、ご理解をいただき、加入推進をはかりたい。またケーブルジョイへの宣伝委託や、商工会・自治振興会などへ推進取り組みのお願いをしている。その他、事業所などへの加入推進により、9月議会で全体の



CATV編集室（岡山県美咲町）

方向性を含め予算組をしていきたい。100%加

入の目標を変えず、努力する。

問 職員削減計画は甘い

瀬尾征爾議員



答 見直しが必要と思っている

Q 前期5カ年の定員適正化計画（職員削減計画）が終わり、後期計画（平成22～26）が示された。適正数の指標が3つあり、「定員モデル」では179人、「類似団体」は138人、「新たな定員管理指標」は213人となっている。従来使われてきた「類似団体」を使わずに「新たな定員管理指標」を使うと現行職員数189人より24人多くなる。こん



まちづくり推進課

A 町長 「類似」と「新たな指標」では相当の開きがあり「新たな指標」では職員増につながり、住民感

情からも乖離する。見直しをしなければならいと思っている。

Q 人事管理上、職員採用は必要不可欠とされている。採用数は退職者数の2分の1以下を厳守すべきと思うが。

A 町長 考え方はまったく同感である。しかし人選が極めて難しく、過去に失敗した例がある。人材の発掘に議会も協力して頂きたい。

問 源流の里の再生は

松本彰夫議員



答 さらなる対策を検討

A 町長
再生の困難な集落については、生活保障につながる部分は、町が守る

Q
具体的な再生は、

A 町長
集落毎に課題も様々で、深いところでの実態が明らかになった。維持・再生については、単独集落での取り組みは難しいのが現実だ。

Q
「源流の里」の再生に取り組んでいるが、その成果は。

Q
トマトの栽培農家、面積が減少している。トマト団地を造成し、全国から栽培農家を募り、国の産地指定の基準である、15haを目標に取り組むべきでは。

A 町長
責任がある。福祉施策による対応が必要。再生可能な地域は、地域再生事業など活用し、取り組みたい。



楽しい水あそび ゆき保育所

A 町長
が必要ではないか。団地の造成に向け現在、調査を進めている。県の補助事業である「未来創造支援事業」の取り組みを考えている。

Q
次世代を担う子どもたちが、町政に対する意見や質問を行う事により、社会や、地域、政治などに関心を持ち、若い町民としての自覚を促すことを目的に子ども議会を開催してはどうか。

A 町長
良い提案と思うが、関係部署と協議したい。

A 教育長
学校現場と協議して検討したい。

問 小島バイパスの進捗状況は

片山元八郎議員



答 1.2km 区間の用地測量を計画

A 町長
変更事業説明会を8月下旬、用地測量を農作物の取り入れが終了した

Q
地権者に対する説明会はいつごろ開催予定か。

A 町長
今年度は、2期分1,200メートル区間の変更事業説明会と用地測量を計画。予算は2,000万円である。

Q
小島バイパスの第二工区とされた区間の今年度予算はいくらか。

Q
県は全線開通年度をいつごろに設定しているか。

A 町長
1期分の一部地権者の了解が得られていないことから、まずは2期分の関係者の方々の了解をいただくことを、県と連携を図りながら優先的に推進する。

Q
かつて第一工区とされた中断区間への取り組み状況は。

A 町長
明確に、何年度開通とは示されていない。今後とも、早期の完成を県に要望していく。



小島バイパス

問 新エネルギー導入への取り組みは

橋本輝久議員



答 仁吾川、小水力発電所整備など調査

Q 公共施設及び小水力発電設備などへの新エネルギー導入の計画は。

A 町長 今年度、公共施設へのバイオマスボイラー及び仁吾川、小水力発電所整備について、調査を行う。各関係機関とタイアップし、実現できるよう取り組みたい。

Q エコなまちづくりを、もっと推進すべきでは。

A 町長 町民・事業者・行政と3者が一体となり、地球環境の保全と環境問題の住民意識の高揚を図っていく。環境にやさしい町づくりを推進する。

Q 豊松小学校の耐震補強整備のスケジュールは。

A 教育長 6月補正で調査設計費と整備工事費を上程している。可決されれば早急に発注する。夏休み期間中に工事着手する予定

A 町長 基本的には、運営会社が行っている内容の一部に町独自の番組を制作し、データーや文字放送を行う予定だ。

Q 身近に感じるケーブルテレビとして、地域のイベントや、学校行事、ニュースなどの、自主放送の基本的な計画は。

A 町長 基本的には、運営会社が行っている内容の一部に町独自の番組を制作し、データーや文字放送を行う予定だ。



玉入れ（豊松地区）

問 ブライダルセンター構想などの進捗状況は

横尾正文議員



答 常勤のセンター長を配置

Q ブライダルセンター構想及び徴収業務の強化の進捗状況は。

A 町長 ブライダルセンター構想は正副センター長を配置する。また関係団体と構成する推進会議を設置し、二つの事業を行う。徴収業務については、嘱託職員による未納者リストの作成などの業務をさせている。

A 理事 ブライダルセンター構想については、この議

Q 産直市場の中で、かなりの損失を出している公社があるが、販売方法に問題はないか。またこの損失は「誰が」「どう」責任をとるのか。

A 町長 500万円余りの損失がでている。原因としては、近くのスーパーでの安売りや店舗前での長期工事により店舗販売が20%ダウンしたため。ま



油木百彩館市場

Q 家畜の伝染病の口蹄疫対策として町独自の対策は。

A 副町長 基本的な議論をし、経営検討委員会にかけ

Q その他に店外出店の一回あたり売上が対前年比8%ダウンしていることにも問題があるのでは。また体質改善の時期では。

A 町長 基本的な議論をし、経営検討委員会にかけ

Q マニュアルに沿った初動対策の訓練などは出来ないのか。

A 課長 初動対策で出来ることはやっていく。

A 町長 悪性伝染病防疫対策マニュアルを作成して対応している。

Q 自のマニュアルが必要では。

問 口蹄疫対策に万全を

寄定秀幸議員



答 危機感を持ち迅速に対応する

A 町長 「国家的危機」と言われているが、非常に危機感を持っている。後手後手に廻らないよう対応する。消石灰の配布で消毒体制の徹底を実施。
神石高原町悪性伝染病防疫対策マニュアルに沿って国・県の関係機関

Q 宮崎県の対応を教訓とし、口蹄疫から我が町の畜産業を守るため、万全の対応をすべきだ。また、万が一の場合の危機管理体制はどうか。

A 町長 帝釈峡観光は本町にとって唯一最大の観光資源で重要だ。農業と観光を一体的に捉え、町の活性化を図る。来年度「観

Q 国定公園帝釈峡の神龍湖から上帝釈峡への遊歩道が通行止めとなったままで観光の大きなマイナスとなっている。
A 帝釈峡観光振興のため早期復旧すべきでは。



帝釈峡桜橋 (神龍湖)

A 教育長 ICT機器などの活

Q 帝釈峡歩道の復旧は県に要請してきたが財政状況により予算化につながないのが現状だ。今後、庄原市とも連携しさらに強く要請する。
A CATVの導入で情報通信環境は飛躍的に向上する。学校教育にどう反映するのか。また、情報識別能力が重要となる。メディア・リテラシー教育への取り組みは。

用は、児童・生徒の学習意欲向上につながる。基礎・基本的知識の習得と活用による思考力・判断力・表現力を養っていきたい。教育効果の向上と事務処理の簡素化で校務の効率化も期待できる。児童生徒が主体的に学ぶための情報活用能力を育成することが重要だ。各教科や総合的学習など、学校教育全般を通じて育成を図っている。

問 支所の職員配置は適正か

小川清治議員



答 適正配置である

Q 合併して6年、過去最大の積極型予算が新体制総員187人の職員でスタートした。支所の職員配置が偏っていないか。油木支所14人、神石支所11人、豊松支所12人と職員配置が住民の人数に対して比例していない。何を基本ベースに配置されているのか、均衡ある住民サービスが出来ているのか。

Q 基本ベースはない。豊松地区は神石地区に比べ上水道施設整備が進み1名増としている。基本がないのはいかがなものかと思う。人口割合で職員配置すると油木15人、神石14人、豊松9人となる。豊松支所の、水道業務は町民係で神石支所と同等だ。産業建設係が3人で神石支所より1人多い、課をまたいだの業務を行っているのか。

Q 平成27年までの職員適正化計画見直しによると、支所機能は見直すところが残すのか。無駄をなくし計画的な行政運営と町と住民が共に繁栄できるまちづくりを願う。
A 支所については残す方向で総合支所・出張所



豊松支所

や支所の担当区域変更も視野に入れ検討する。

問 CATV加入促進の条件緩和は

木野山孝志議員



答 現時点では考えていない

Q CATV事業の加入促進のために、事業所の加入負担金実費の条件緩和をすべきでは。

A 町長 各事業所の工事費は調査算定中である。利用頂きたいので問い合わせを欲しい。

条件緩和は現時点では考えていない。

Q インターネット利用についても説明会を行い加入促進を図るべきでは。利用者はプロバイダーを選べないのか。

A 町長 説明会は、現在のところ計画はしていないが担当者で検討する。

運営会社がプロバイダーとなるので選べない。

A 町長 理事 CATV事業は、いろいろ想定し、方針を決めて9月議会で補正予算を上程したい。

Q 商工会員も減少傾向で衰退の一途だ。町の経済的活性化のために、町内の需要の創造

A 町長 町民も商工会もどちらも幸せになる「共存共栄」を図りたい。商工会には、町の各種支援策に呼応した「大売出し」など積極性を期待する。

Q 町と商工会など関連機関との町の経済的活性化に向けたプロジェクトチームを立上げ前向き検討したらどうか。



被爆ピアノコンサート（やまなみ文化ホール）

A 町長 取り上げ検討する。

問 農林業の将来ビジョンは

佐伯卓師議員



答 トマト・ブドウ・和牛を柱に

Q 町は自立できる農業、希望の持てる農業へのビジョンを示し、集中した対策により振興を図るべきであるが、本町における農林業の位置づけと将来像は。

A 町長 また、農産物の団地化や今後の和牛振興対策への取り組みは。

本町にとって農林業は基幹産業であり、農林業が衰退することは、町の存亡にも関わることであることは認識している。

時流に流されるのではなく、勇気と力を持って激流に立ち向かう気持ちで、突き進んでいく覚悟である。

水稻を中心にトマト・ピーオーネ・和牛などを組み合わせた複合経営を基本として考えている。

トマトは中・小規模の生産団地を町内に数か所考えており、早急に調査したい。和牛は1万2,000頭構想の実現に向けて取り組む。



和牛の肥育風景（三和）

本町の山林の32%は人

Q 神石小中学校の給食調理場は、建築年度も古く老朽化しており早急な改修が必要である。今後はどちらか一か所とし、共同調理方式とする計画だと聞くが、その時期はいつになるのか。また、現在のままでの使用に問題はないのか。

A 教育長 現在耐震構造の調査中であり、終わり次第その結果と合わせて検討して決めたい。

軽微なところは改修しながら使用しており、当面使用に問題はないと考えている。

元気なグループ紹介



ぶどう栽培（ジベレリン処理）

農事組合法人
「高原の里まき」

農事組合法人「高原の里まき」は、旧神石町の牧地域の農業を守るため、牧学校区の5つの集落の53戸で構成。基盤整備をしていない農地も含め26haを集積、16haで水稻栽培、5haで飼料稲を栽培している。その他経営の多角化を目指し、ぶどう（ビオーネ、シャインマスカット）50a、こんにゃく30aを栽培している。

ぶどうの栽培は今年で2年目、来年には本格的に収穫が始まる。現在近隣地区のぶどう園4aを借受け栽培の研修中。

一方、集積の内、約2.5haが不作付地である。個別所得補償モデル対策が始まり、不作付地の解消が課題である。これまでは保全管理で対応していたが、知恵を絞り不作付地の解消を行わなければならない。水稻が作付できない農地には、こんにゃくや大豆、はぶ草茶などを作付し、今後は加工部門にも取り組むことが必要。

不作付地の解消やぶどう栽培などの多角経営を個人で行うことは難しいが、労働力が確保できる法人だからできる。

今後は法人経営を軌道に乗せ、ぶどう栽培や農産物加工などに興味を持っている若い後継者確保に取り組みしたい。

第6回 議会クイズ

《クイズ》

空欄に適切な言葉を入れてください。

① 6月補正予算・太陽光発電補助を〇〇（20基分）

② 委員会研修リポート・CATV〇〇〇〇はより開かれた議会を目指して。

③ 一般質問・小島〇〇〇〇〇〇〇〇の進捗状況は。

④ 一般質問・口蹄疫対策に〇〇〇〇。

⑤ 元気なグループ紹介・高原の里〇〇〇〇

《ヒント》

議会広報を良く読めば解ります。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢」を記入してください。

議会への要望・ご意見なども書いてください。

「まちの声」で、出来るだけ紹介いたします。

正解者多数の場合は抽選で5名の方に1,000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

《あて先》

〒720-1522 神石高原町小島二〇二五 神石高原町議会事務局

「第6回議会クイズ係宛」

《締め切り》

8月10日（火）消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

編集後記

政権交代し、わずか9ヵ月足らずで総理大臣が交代。菅首相は「最小不幸社会」を目指す」と表明。

困窮する国民を「絶対幸福にして見せる」との気迫は全く感じられない。「最小不幸」ではなく、最大の希望を持てる社会を目指して、一身をなげうつつ覚悟で、「ムダの削減」と「景気回復」に取り組み、国民のために働いてもらいたい。

また、政治とカネの問題ではだれひとり責任を取ろうとせず、国民の政治不信はつる一方だ。

生活現場の声を国政に反映するのが国会議員の仕事ではないか。

国政に翻弄されながらもまちづくりに真摯に取り組む、町議会の活動をより多くの町民に知っていただきたい。「みんなの町議会」がその一助となることを願っている。

（寄）



地生のやまゆり